

県会議員 奥村のり子の
読者ニュース

2016年1月10日 第203号
——奥村のり子生活相談所——
〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場 1-11
☎ & F A X 073-427-7121
Eメール w-jcpken@naxnet.or.jp



明けましておめでとうございます



国民の新たな闘いに確信もち
希望ある年にしましょう

明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお祈り致します。

昨年戦争法の強行など最悪の政治が行われた年でした。しかし、国会前には若者はじめさまざまな団体や市民の方が押し寄せ抗議の声を上げ、世界を驚かせました。「野党は共闘！」の声も広がっています。このような中で日本共産党は『戦争法廃止の政府をつくろう』と提案しよびかけています。

今年のお正月は今までにない明るい気持ちで希望を持って迎えることができました。

おおいかぶさるほどたくさん課題がありますが、みなさんとごいっしょに元氣よくがんばって行きたいと思えます。7月の参議院選挙必勝にぜひ力をおかし下さい。

今年国際豆年 豆まめしく

がんばります。いま、まめ皿がブームだそうです。今年の私のキーワードは豆です。

(奥村のり子)



坂口多美子さんとともに、新春街頭宣伝。声援が多く大変楽しかったです。

夫の実家近くの平池から初日の出を眺め3つも願い事をしました。池のそばをかわいい夕マ電車が走っています。

新春独談

怖い！安倍戒厳令
恥かしい？津波誤報

今年の元日は、「津波発生」の誤報で大騒ぎ。午後2時8分頃、筆者のガラケーにも「大きな津波の観測」「高台に避難を」とメールが到着。だがテレビやネットでは何の気配もなく誤報だと思っただ。すると3時過ぎに「津波は更に大きくなつて」と第二弾。その少し後になつてやっと訂正や謝罪メールが来た。県が地震や津波を観測すると緊急に知らせる自慢のシステムらしいが、今年(2016年)の潮位のデータ入力を忘れ潮位を津波と認識したのが原因らしい。「恥ずかしい。うるたえて二度まで送信した」と四日に県知事が謝罪するお粗末さでした。

さて、四日に恒例の党旗びらきがあり、志位委員長のおいさつを聞いて「これは大変だ」と痛感したのは、安倍首相が憲法の明文改憲にむけて狙っているのが、昨年11月に表明した「緊急事態条項」の新設です。志位委員長は「その危険性は重大であり、改憲の本丸である憲法9条改定に向けた突破口」だけでなく、「内閣総理大臣は、日本有事、内乱などの社会秩序の混乱、大規模自然災害のさいに緊急事態の宣言ができ、法律と同一の効力を有する政令の制定をすることができ、地方自治体への指示ができる」ものを狙っているのです。いよいよ「戒厳令」「独裁国家」そのものをめざすもの。どこまでも無茶苦茶な安倍暴走。怖いですね。(編集室)

CSJNの週刊口誌—主なもの—

- 8日 市駅前吉宗像前宣伝、会議
- 9日 河北地区宣伝、県地評旗開き
- 9日 医労連懇談会
- 10日 新春マラソン、出初め式、会議、成人式宣伝、産廃対策会議
- 11日 地域訪問
- 12日 句会、会議
- 13日 社保部会
- 14日 無料生活相談、知事と懇談(予算要望) 団会議、環境を考える会

戦争法廃止の政府へ
日本共産党の躍進を

新年明けましておめでとうございます。夏の参議院選挙、比例代表候補として和歌山のみなさんにお世話になります。

「国民連合政府」の実現で、若者たちを戦場に送りだす戦争法を一刻も早く廃止に追い込もうではありませんか。

消費税増税ストップ、社会保障の切り捨てを許さないためにも、安倍内閣を倒さなくてはなりません。

政治の新しい時代をきりひらき、和歌山のくらしと経済をよくするために全力をつくす決意です。

党参議院議員
大門みきし



12月21日、22日、大門議員は、畠山和也衆院議員、和歌山県会議員団と共に、環太平洋連携協定(TPP)でみかん生産量全国一の和歌山県に調査に入りました。今年、暖冬、多雨の影響で、みかんが木になったまま腐ったり、落下しているみかん畑などを視察。

ジュース工場関係者、有田川町長、みかん生産農家、JA 役員と懇談。生産者からは、「自由化、後継者不足などで、廃園のみかん畑も多い。小規模の農家を守ってほしい。生活ができ、若者が意欲が持てる農業施策を期待する。」などの要望が寄せられました。

調査には、坂口多美子参議院和歌山選挙区候補が参加しました。



右端が大門議員、一人おいて坂口さん。(左の文と写真は大門議員のホームページから)

